

事業名：水産生産基盤整備事業
地区名：渡名喜地区（沖縄県渡名喜村）

●地区の概要

渡名喜漁港は島唯一の漁港であることから地元の漁業活動における拠点港としてその役割は大きく、また、島周辺には好漁場が存することから地元以外の漁船も多く操業しており、休憩または避難港としての役割も担っている。さらに定期貨客船が就航するなど、生活港として重要な役割も果たしている。

●事業の目的

沖防波堤の新設により、操業日数の増加並びに定期船の就航率を向上させるとともに、沖防波堤の改良により、漁港施設の台風災害を防止する。

事業内容

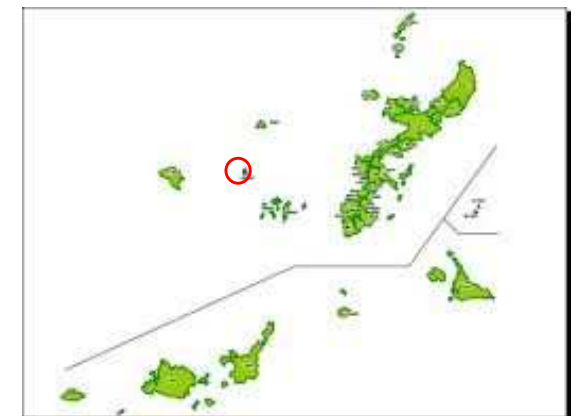
- ・主な事業量：第2沖防波堤(改良) 180m
第3沖防波堤(新設) 250m
-5.5m航路浚渫 3,200m²
-5.0m泊地浚渫 3,000m²
-2.5m物揚場(1)(改良) 90m
- ・事業費：6,344 百万円
- ・事業主体：沖縄県
- ・事業期間：H27～R9
- ・令和8年度実施要望額（事業費）：135,556千円
（国費）：122,000千円
- ・令和8年度事業実施予定箇所：
-5.5m航路 浚渫一式



渡名喜漁港 第1種 県管理 昭和36年指定 令和4年撮影



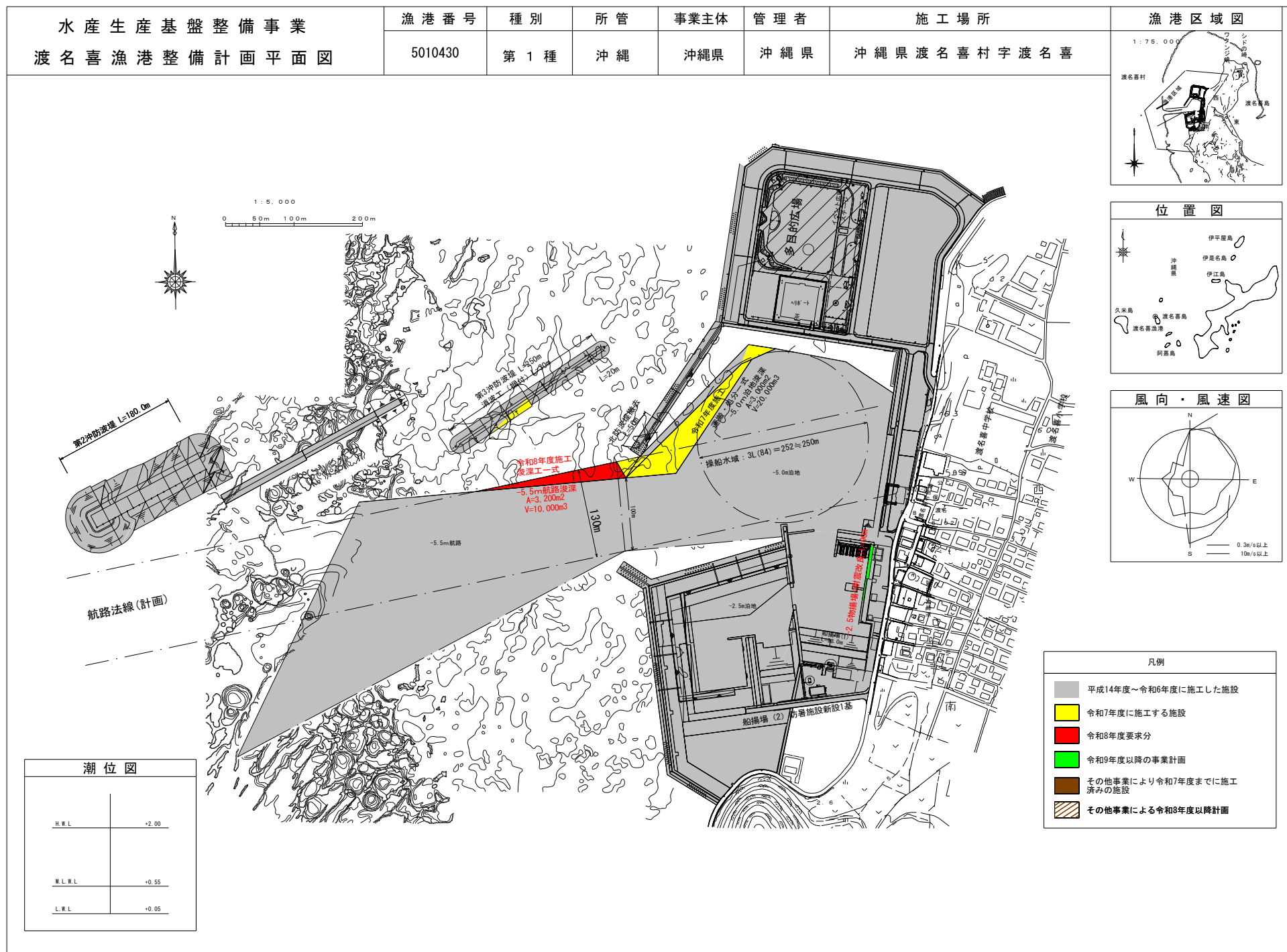
定期船の大型化により、現行の港形では操船に支障を来している。



第2沖防波堤は、台風被災を数回受けており、波浪条件の見直しを行って改良を行う。

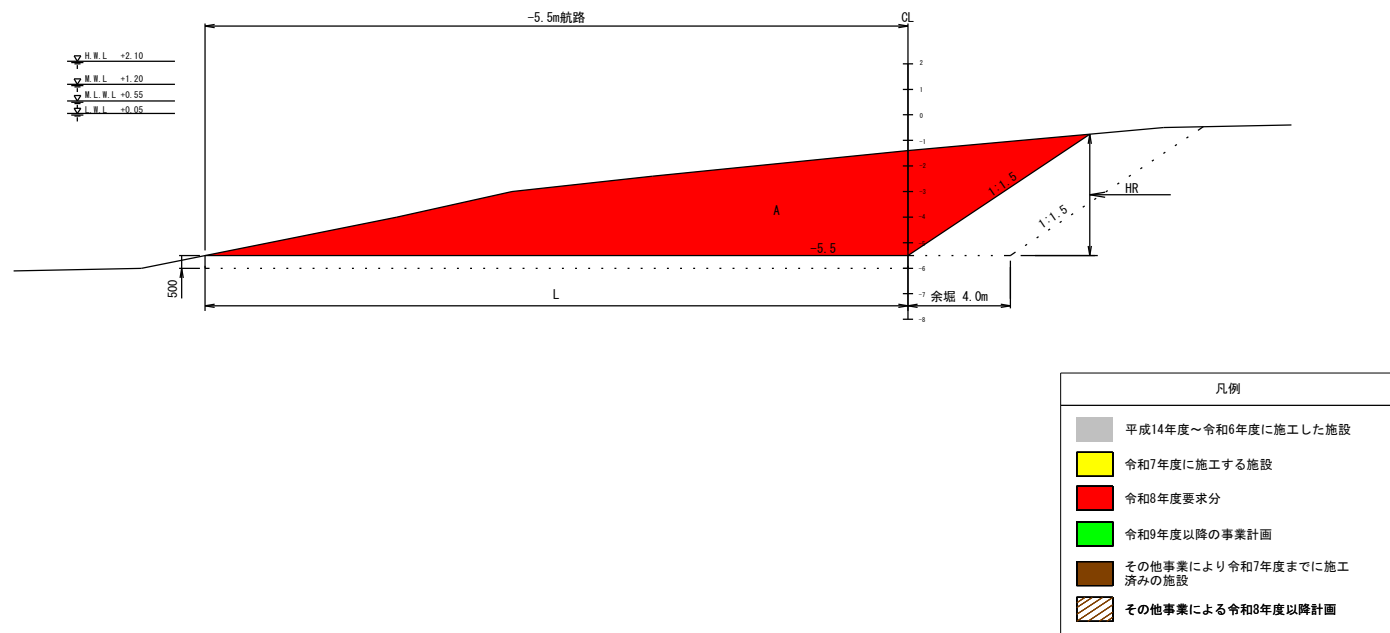


就航する定期船の就航率向上及び漁船の出漁日数の増加を図るため、防波堤を整備する。



-5.5m航路 標準断面図

S=1:100





渡名喜漁港 第1種 県管理 昭和36年指定 令和4年撮影